

解答例

点 A を $x = 0$ とし, 点 B 方向を x の正方向とする .

1 .

点 A から距離 x で切断したと仮定すると, 点 A を含む物体の釣り合いから次式を得る .

$$F(x) = -\omega x + W \quad [5 \text{ 点}] \quad (1)$$

$$M(x) = -\frac{\omega}{2}x^2 + Wx = -x\left(\frac{\omega}{2}x - W\right) \quad [5 \text{ 点}] \quad (2)$$

式 (1) に $x = L$ を代入する .

$$F = -\omega L + W \quad (3)$$

式 (3) の値で SFD, BMD が変化するので以下のように場合分けをする .

(1) $-\omega L + W \geq 0 (L \leq W/\omega)$ の場合

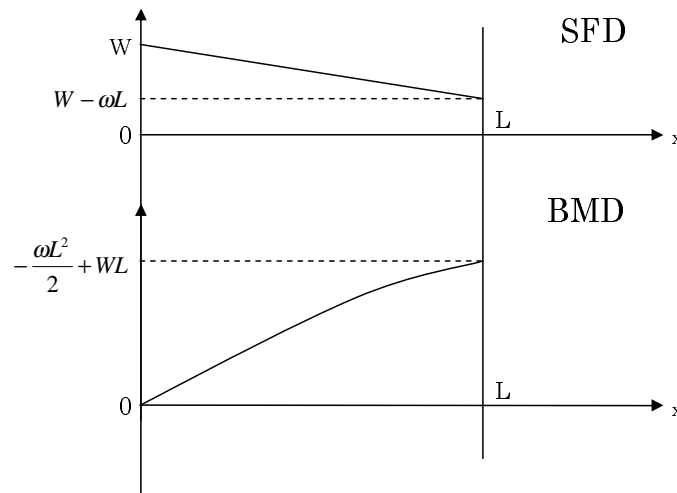
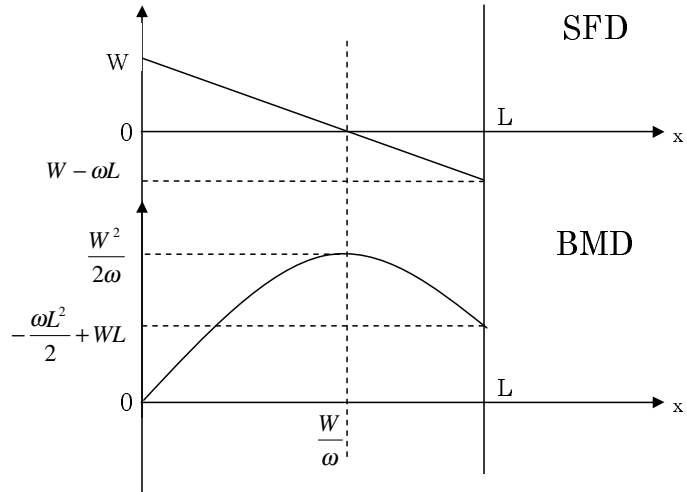


図 1: $-\omega L + W \geq 0 (L \leq W/\omega)$ の場合

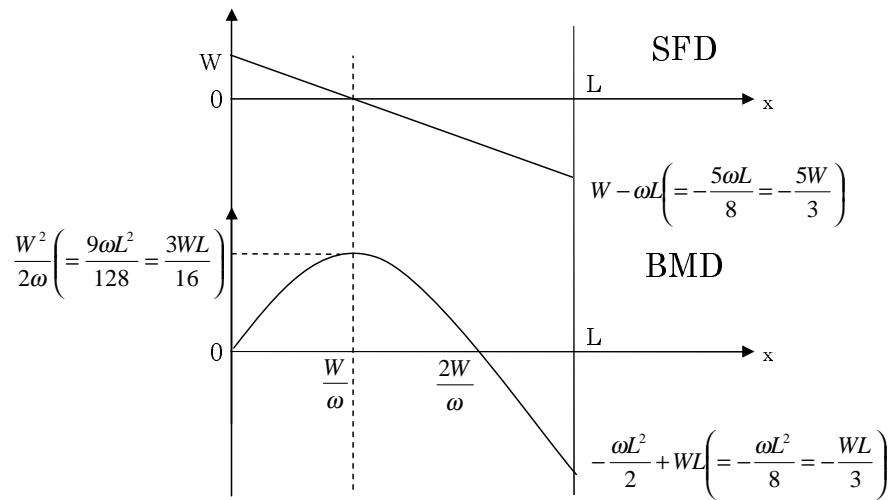
(2) $\omega L + W < 0 (L > W/\omega)$ の場合

式 (2) から BMD は $x = 0, 2W/\omega$ で x 軸と交わるので更に以下のように場合分けをする . ただし, (ii) の図中の括弧内の値は問題 4 の式 (9) を用いた場合である .

3 条件のどれか 1 組の SFD [5 点], BMD [5 点] を記入すれば正解とした .



☒ 2: (i) $\frac{W}{\omega} < L \leq \frac{2W}{\omega}$



☒ 3: (ii) $L > \frac{2W}{\omega}$

2 .

たわみ量を y とし, 下向きを正とする. たわみ曲線の微分方程式に式 (2) を代入する.

$$\begin{aligned}\frac{d^2y}{dx^2} &= -\frac{M}{EI} \\ &= \frac{1}{EI} \left(\frac{1}{2}x^2 - Wx \right) \quad [5 \text{ 点}]\end{aligned}\quad (4)$$

式 (4) を積分する. ただし, C_1, C_2 は積分定数である.

$$EI \frac{dy}{dx} = \frac{\omega}{6}x^3 - \frac{W}{2}x^2 + C_1 \quad [5 \text{ 点}] \quad (5)$$

$$EI y = \frac{\omega}{24}x^4 - \frac{W}{6}x^3 + C_1x + C_2 \quad [5 \text{ 点}] \quad (6)$$

境界条件は点 B ($x = L$) で $y = 0, dy/dx = 0$ となるので式 (5), (6) に代入して C_1, C_2 を求める. [10点]

$$C_1 = -\frac{\omega L^3}{6} + \frac{WL^2}{2} \quad [5 \text{ 点}]$$

$$C_2 = \frac{\omega L^4}{8} - \frac{WL^3}{3} \quad [5 \text{ 点}]$$

よってたわみ曲線は次式となる.

$$y = \frac{1}{EI} \left(\frac{\omega}{24}x^4 - \frac{W}{6}x^3 - \frac{\omega L^3}{6}x + \frac{WL^2}{2}x + \frac{\omega L^4}{8} - \frac{WL^3}{3} \right) \quad [5 \text{ 点}] \quad (7)$$

3 .

点 A のたわみ量を y_A とし, 式 (7) に $x = 0$ を代入して以下のようになる.

$$y_A = \frac{1}{EI} \left(\frac{\omega L^4}{8} - \frac{WL^3}{3} \right) \quad [10 \text{ 点}] \quad (8)$$

4 .

式 (8) で $y_A = 0$ とすると W と ω の関係は以下のようになる.

$$W = \frac{3\omega L}{8} \quad [10 \text{ 点}] \quad (9)$$

5 .

式 (9) より $L = 8W/3\omega$ となるので SFD, BMD は問題 1 の (ii) となる. 曲げモーメントの絶対値が最大となるところが危険断面となるので, その位置は BMD より $x = 3L/8 (= W/\omega)$, L のどちらかとなる. [3点]

そこで式 (2) に代入して $|M(x)|$ の大小関係を見る. ただし, 計算結果は ω と L で表し, 括弧内は W と L で表した場合である.

$$\left| M\left(\frac{3}{8}L\right) \right| = \frac{W^2}{2\omega} = \frac{9\omega L^2}{128} \left(= \frac{3WL}{16} \right) \quad [2 \text{ 点}]$$

$$|M(L)| = \frac{\omega L^2}{2} - WL = \frac{\omega L^2}{8} \left(= \frac{WL}{3} \right) \quad [2 \text{ 点}]$$

$|M(3L/8)| < |M(L)|$ なので危険断面の位置は $x = L$ となる. [3点]

6 .

断面係数を Z , 曲げモーメントの絶対値の最大値を $|M_{max}|$ とすると最大応力 σ_{max} は次式となる . また断面 2 次モーメント I を用いた場合は括弧内の式となる .

$$\sigma_{max} = \frac{|M_{max}|}{Z} \left(= \frac{|M_{max}|}{I} \frac{d}{2} \right) \quad [5 \text{ 点}] \quad (10)$$

よって σ_{max} は式 (10) に $Z = \pi d^3/32$ ($I = \pi d^4/64$) , 問題 5 より $|M_{max}| = \omega L^2/8$ を代入して以下のようになる . ただし , 問題 5 と同様 , 計算結果は ω と L で表し , 括弧内は W と L で表した場合である .

$$\sigma_{max} = \frac{4\omega L^2}{\pi d^3} \left(= \frac{32WL}{3\pi d^3} \right) \quad [5 \text{ 点}]$$